パワーセービング機能について

本機は工場出荷時に「パワーセービング機能」がONで設定されております。

※パワーセービング機能とは、暗いところに放置すると自動的に消費電力の大きい液晶表示を消して節電する機能です。

※時計が袖などで隠れている場合でも、表示が消えることがあります。

●表示スリープについて

時刻モードまたはデモ表示のとき、暗いところに約1時間放置すると、パワーセービング機能が働いて表示スリープ状態になります。

➡表示スリープ中は“S”マークのみ点滅表示します。

※午前6：00～午後9：59の間は、表示スリープ状態に入りません。ただし、すでに表示スリープ状態になっているときは、表示は消えた状態のままとなります。

※表示スリープ状態でも時計機能、計測、アラームなどの報音は通常通り行ないます。



●表示スリープを解除するには

本機を明るいところに置くか、いずれかのボタンを押すか、オートライト（「■時計を傾けて発光させる」）のように傾けたりします。

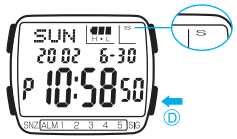
※本機を明るいところに出した場合は、表示が点灯するまで最大5秒かかる場合があります。

●パワーセービング機能のON／OFF

時刻モードのとき、Ⓓボタンを約2秒間押すごとにパワーセービング機能のON／OFFが切り替わります。

※パワーセービング機能がONのときは、“S”マークが点灯します。

※Ⓓボタンを押すと、12時間制表示と24時間制表示も切り替わります。



机の中などに長期間しまっておくときは、パワーセービング機能をONにしておけば、節電の効果があります。

デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。デモ表示では時計の機能の一部を自動的に表示し続けます。（デモ表示中はライト点灯以外の通常のボタン操作はできません）



●デモ表示の解除

Ⓑボタン以外のボタンを押すと、デモ表示が解除されます。

●デモ表示の設定

Ⓒボタンを約3秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

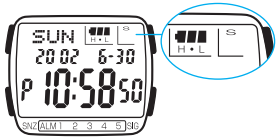
電源について

本機は太陽電池で発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。
光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。
安定してご使用いただくために、なるべく光に当たるようにしてお使いください。

ご注意

二次電池が消耗して時計機能が停止すると（レベル5）、メモリーされているデータや設定データは消去されます。

■バッテリーインジケーターの見方



レベル1	H・L	通常動作可能
レベル2	H・L	通常動作可能
レベル3	H・L	通常動作可能
レベル4	C	アラーム・時報などの報音不可、EL点灯不可、液晶表示不可、ボタン操作不可
レベル5		時計発振不可（時計機能停止）

■充電時のご注意

以下のような高温下での充電はお避けください。
●炎天下に駐車中の車のダッシュボード
●白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
●直射日光が長く当たって、高温になる所
なお、極端な高温下では液晶パネルが黒くなることがありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

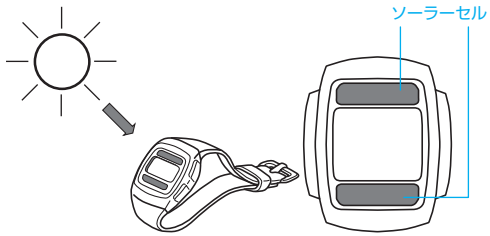
⚠ 充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようにご注意ください。

●充電のしかた

本機のソーラーセル部を光源に向けます。

※ソーラーセルの一部が隠れていると充電効率が下がりますのでご注意ください。

例）時計の置き方



※イラストは樹脂バンドの場合です。

※直射日光下などの強い光で充電した場合、バッテリーインジケーターが一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することがあります。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。

※レベル5になっても、再度充電を行なうことで使用できます。このときは、レベル3またはレベル2、レベル1になるまで十分に光に当ててから時刻・カレンダーを合わせてください。

※レベル5から充電したときは、レベル4になると表示が点灯しますが、時刻・カレンダー合わせはできません。

●充電必要サイン

レベル4状態で“C”マークのみ点滅しているとき（CHARGE状態）は、電池残量が極端に少なくなっています。このときは、本機を光に当てて、十分に充電を行なってください。

●“R”マークが点滅している場合（RECOVER状態）

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、“R”マークが点滅して、一時的に以下の操作ができなくなります。

●ELバックライトの点灯
●アラーム・時報などの報音

この場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。



●充電の目安

本機は一度フル充電すると、充電しなくても下記の条件で使用した場合に約6ヶ月動き続けます。

※フル充電からレベル4になるまで。

1日あたりの使用量
・ELバックライト：1.5秒間
・アラーム報音：10秒間

なお、こまめに充電を行なえば、安定してご使用いただけます。

〈1日あたりの回復充電時間〉

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約5分
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約24分
曇り日の窓際など（5,000ルクス）	約48分
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約8時間

●各レベルに回復するための充電時間

環境（照度）	充電時間 レベル5➡レベル4	レベル4➡レベル3	レベル3➡レベル2	レベル2➡レベル1
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約33時間	約3時間	約16時間	約2時間
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約166時間	約16時間	約80時間	約12時間
曇り日の窓際など（5,000ルクス）	―	約33時間	約162時間	約25時間

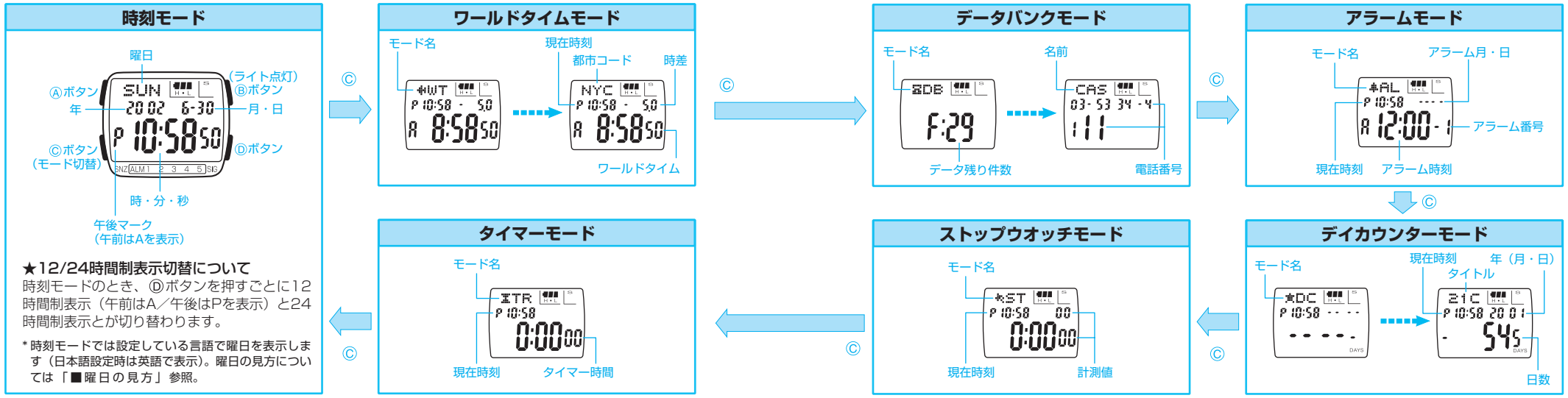
※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

※各モードで Ⓑ ボタン以外のボタンを押した後に Ⓒ ボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。

※データバンクモード、アラームモード、デイカウンターモードのまま２～３分すると、自動的に時刻モードに戻ります。



★12/24時間制表示切替について

時刻モードのとき、Ⓓボタンを押すごとに12時間制表示（午前はA／午後はPを表示）と24時間制表示とが切り替わります。

＊時刻モードでは設定している言語で曜日を表示します（日本語設定時は英語で表示）。曜日の見方については「■曜日の見方」参照。

表示照明用 EL バックライトについて

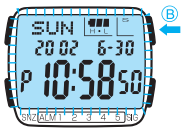
本機の表示部には EL パネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると暗いときに文字板が発光するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して発光させる
～手動発光～

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、

Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓑ ボタンを押すと約 1.5 秒間文字板が発光します。



※オートライトOFFのときも Ⓑ ボタンを押すと発光します。

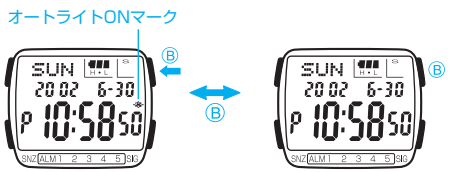
■ 時計を傾けて発光させる
～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても暗いときに時計を傾けるだけで文字板が発光する便利なフルオートライト機能です。

※明るいときは、自動発光しません。

暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約 1.5 秒間発光します。

準備：時刻モードのとき Ⓑ ボタンを約２秒間押し続けて、オートライト ON（☀点灯）にします。



※オートライトONのとき、Ⓑ ボタンを約２秒間押し続けるとオートライトOFF（☀消灯）に戻ります。

※オートライトON／OFF設定は、時刻モードのときのみ行なえます。

●文字板を発光させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を**「手首の外側」**にくるようにつけてください。

※文字板の左右（3時－9時方向）の角度を± 15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



〈EL 発光についてのご注意〉

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中に Ⓑ ボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトを頻繁に使用すると電池の持続時間が短くなりますのでご注意ください。
- 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- 文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約 1.5 秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトを OFF にしてご使用ください。

- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。
- 本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

言語の設定について　以下の操作は、時刻モードで行ないます。

本機では、データバンクモードの名前部とデイカウンターモードのタイトル部に設定している言語で文字を入力することができます（16カ国語対応）。
また、時刻モードでは設定している言語で曜日を表示します（日本語設定時は英語で表示）。
※工場出荷時および電池交換後は、「ENG（英語）」でセットされています。他の言語に変更したい場合は、以下の方法で設定しなおしてください。

■言語のセット

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

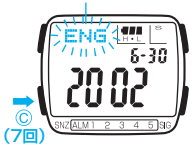
➡「秒」が点滅します。



2.「言語設定」にする

Ⓒボタンを7回押します

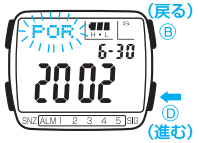
➡「言語コード」が点滅して、言語設定の表示になります（右図）。
※ Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が移動します（「■時刻・カレンダーのセット」参照）。



3. 言語を選ぶ

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに「言語コード」が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



コード	言語	コード	言語
ENG	英語	CES	チェコ語
POR	ポルトガル語	SVE	スウェーデン語
ESP	スペイン語	POL	ポーランド語
FRA	フランス語	ENA	ギリシャ語
NED	オランダ語	ROM	ルーマニア語
DAN	デンマーク語	TÜR	トルコ語
DEU	ドイツ語	РУС	ロシア語
ITA	イタリア語	JPN	日本語

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

ワールドタイムの使い方　Ⓒボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界29タイムゾーン（28都市）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、Ⓓボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに各都市の時刻を表示します。
※ 押し続けると早送りします。



■ワールドタイムの合わせ方

ワールドタイムの時刻は、表示される都市のうち、ある1つの時刻を合わせると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

(1)都市コードを選ぶ

ワールドタイムモードのとき、Ⓓボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押して、セットしたい都市コードを選びます。

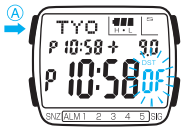
例)都市コード"TYO"（東京）をセットする



(2)セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➡ "DST" マークと "On" または "OF" が点滅します。
※ このとき、Ⓓ ボタンを押すごとにサマータイム（DST）のON／OFFを設定することができます。（「■サマータイムのON／OFF設定」参照）



(3)「時」のセット

Ⓒ ボタンを押します

➡「時」が点滅します。

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※ Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押すと、基本時刻と同じ時刻でセットされます。

(4)「分」のセット

Ⓒ ボタンを押します

➡「分」が点滅します。

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡「時」のセットと同様に Ⓓ または Ⓑ ボタンでセットします。

(5)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

(1) **ワールドタイムモードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します**

➡ "DST" マークと "On" または "OF" が点滅します。



(2) **Ⓓ ボタンを押します**

➡ サマータイムのON／OFFが切り替わります。
※ On＝サマータイム ON（夏時間）
OF＝サマータイム OFF（通常時間）
※ サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まります。

(3) **Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます**

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
PPG	パゴパゴ	−11		JED	ジェッダ	+3	クウェート、モスクワ
HNL	ホノルル	−10	パペーテ	THR	テヘラン	+3.5	
ANC	アンカレジ	−9	ノーム	DXB	ドバイ	+4	アブダビ
LAX	ロサンゼルス	−8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル	KBL	カブール	+4.5	
				KHI	カラチ	+5	
DEN	デンバー	−7	エルパソ、エドモントン	DEL	デリー	+5.5	
CHI	シカゴ	−6	ヒューストン、メキシコシティ	DAC	ダッカ	+6	
				RGN	ヤンゴン	+6.5	
NYC	ニューヨーク	−5	モントリオール、マイアミ、ボストン	BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
CCS	カラカス	−4	サンティアゴ	HKG	ホンコン（香港）	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
RIO	リオデジャネイロ	−3	サンパウロ、ブエノスアイレス				
- - -		−2		TYO	東京	+9	ソウル、平壌
- - -		−1	アゾレス諸島	ADL	アデレード	+9.5	
LON	ロンドン	+0	ダブリン	SYD	シドニー	+10	グアム
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、フランクフルト	NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
CAI JRS	カイロ エルサレム	+2	アテネ、ヘルシンキ、ベイルート	WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は2002年6月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

データバンクの使い方

Ⓒ ボタンを押して、データバンクモードにします。

データバンクモードでは、名前（8文字）と電話番号（16桁）のデータを最大30件記憶できます。

※データバンクモードに切り替えると、データ残り件数を表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

※データを入力すると名前順に並び替わりますので、データを探すときも大変便利です（自動ソート）。

＊ 自動ソートの順番については「■自動ソートの順番」参照。

■ データのサーチ

データバンクモードのとき、Ⓓボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとにページが進みます。

※押し続けると早送りします。

※名前が4文字以上のときは、右から左へ流れて表示されます（データの最後に "◀" マークがつきます）。

※データ入力をしたページと空きページを表示します。なお、データを1件も入力していないときは、空きページのみ表示します。

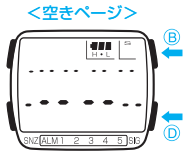
■ データを入力する

本機のデータバンクは、設定している言語で名前部に文字を入力することができます（16カ国語対応）。

＊ 言語の設定については「■言語のセット」参照。

1. 空きページを選ぶ

データバンクモードのとき、Ⓓボタンと Ⓑボタンを同時に押します



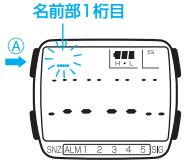
➡空きページ表示になります。

※ データがすでに30件記憶されているときは、不要なデータを消去しておいてください

＊「■ データの消去」参照。

2. セット状態にする

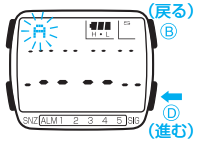
Ⓐ ボタンを約2秒間押します



➡名前部の1桁目が点滅します。

3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



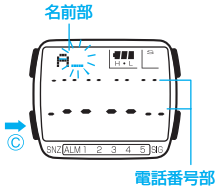
➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※カタカナはⒹまたはⒷボタンを押し続けるとア段の早送り（ア⇔カ⇔サ⇔タ…）になります。

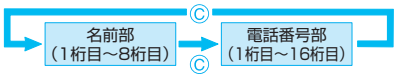
4. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。

※ 押し続けると点滅箇所が早く移動します。



3.～4. の操作を繰り返して、データを入力します。

※名前は最大8文字まで入力できます。

＊ 名前部に入力できる文字については「■文字リスト」参照。

※電話番号は最大16桁まで入力できます。電話番号部に入力できる文字は－、0～9、[ ]、（空白）です。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※ 続けて他のデータを入力したいときは、1.～5. の操作を繰り返し行ないます。

■ データの修正

1. 修正したいデータを選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押して、修正したいデータを選びます。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➡名前部の1桁目が点滅します。

3. データを修正する

Ⓒ ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して正しい文字（数字）を表示させます

4. セットを終わる

修正が終わりましたら、Ⓐボタンを押して点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ データの消去

1. 消去したいデータを選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押して、消去したいデータを選びます。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➡名前部の1桁目が点滅します。

3. データを消去する

Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します

➡"CLR" 表示後、データが1件消去されます。

※ データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

4. セットを終わる

消去が終わりましたら、Ⓐボタンを押して点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

ストップウオッチの使い方

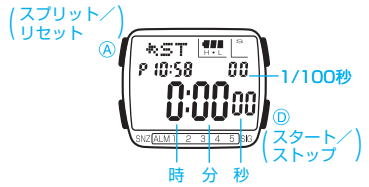
Ⓒボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。



●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓓ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓐ スプリット → Ⓐ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

（Ⓐ スプリット → スプリットタイム表示）

●1・2着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓐ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓐ 2着タイム表示 → Ⓐ リセット

●計測中に Ⓐ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（"SPL" マーク点灯）。

※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

●計測終了後 Ⓐ ボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

アラーム・時報の使い方

Ⓒ ボタンを押して、アラームモードにします。

■アラームの使い方

●アラームについて

●通常アラーム
設定した時刻になると、10秒間電子音が鳴ります。
●スヌーズアラーム(アラーム1のみ切り替え可能)
設定した時刻になると、10秒間電子音が鳴り、5分おきに合計7回報音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても、再び鳴り出します。

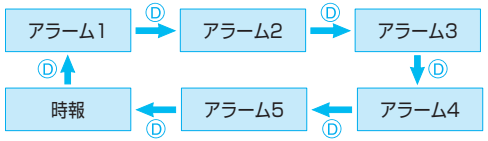
●アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わりますので、設定したいアラームを選びます。





2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

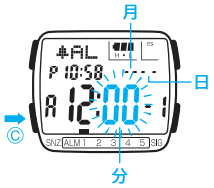
➡「時」が点滅します。
※該当のアラームマークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。
※アラーム1がスヌーズアラームONのときにセット操作を行なうと、スヌーズ機能はOFFになります。

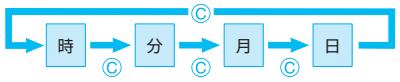


3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。





4. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※「月」をセットしないときは“−”を、「日」をセットしないときは“−−”を表示させます。



5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2〜3分間すると、自動的に点滅が止まります。

3.〜4. の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。
※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。
※「時・分」に加えて、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームを鳴らすタイミングが選べます。

毎日鳴らす➡「時・分」のみセット
指定月に毎日鳴らす➡「月・時・分」のみセット
毎月同じ日に鳴らす➡「日・時・分」のみセット
指定月日に鳴らす➡「月・日・時・分」全てセット

●アラームのON／OFF設定

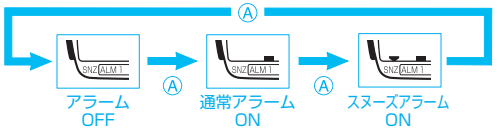
★アラーム1（通常アラーム／スヌーズアラーム）

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、アラーム1を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとにアラームのON／OFFが以下の順で切り替わります。
※アラーム1のアラームマークが点灯しているときがONとなり、アラームが鳴ります。
※スヌーズアラームONのときはスヌーズマークも点灯します。





●鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。
※スヌーズアラームのときは、再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。
※「●アラームのON／OFF設定」の手順でアラームマークとスヌーズマークを消すと、スヌーズアラーム機能が解除され、以後音は鳴りません。

■ご注意■

●スヌーズマーク点滅中に以下の操作を行なうと、点滅が止まり、次回報音を中断します。

・時刻モードでセット状態に入ったとき。
・アラームモード（アラーム1表示）でセット状態に入ったとき。

●基本時刻のセット中にスヌーズアラーム時刻と一致した場合は、1回のみ報音を行ないます。

●モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを約2秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

★アラーム2〜アラーム5（通常アラーム）

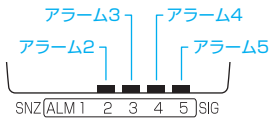
準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとにアラームのON／OFFが切り替わります。
※該当のアラームマークが点灯しているときがONとなり、アラームが鳴ります。



<アラームマークの見方>



■時報の使い方

●時報について

毎正時（00分）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

●時報のON／OFF設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、時報表示を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに時報のON／OFFが切り替わります。
※時報マークが点灯しているときがONとなり、時報が鳴ります。



デイカウンター機能の使い方

Ⓒ ボタンを押して、デイカウンターモードにします。

デイカウンターモードでは、タイトル（8文字）と年月日を5本メモリーでき、自動的に今日からの日数を計算して表示します。

●未来の予定日などを設定
今日からの残日数を表示します。

●過去の記念日などを設定
今日までの経過日数を－（マイナス）で表示します。

※デイカウンターモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

※工場出荷時は、2001年1月1日（タイトル部は空白）で5本ともメモリーされてきます。

■ メモリーを見る

デイカウンターモードのとき、Ⓓ ボタンを押します



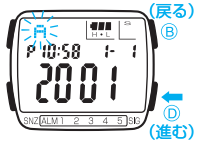
➡Ⓓ ボタンを押すごとにページが進みます。

※1秒ごとに「年」と「月・日」が切り替わります。

※タイトルが4文字以上のときは、右から左へ流れて表示されます（データの最後に"◀"マークがつきます）。

3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ カタカナはⒹまたはⒷボタンを押し続けるとア段の早送り（ア⇔カ⇔サ⇔タ…）になります。

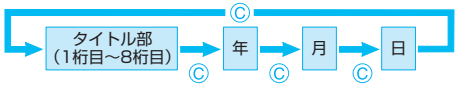
4. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。

※ 押し続けると点滅箇所が早く移動します。



■ タイトルと設定日のセット

本機のデイカウンターは、設定している言語でタイトル部に文字を入力することができます（16カ国語対応）。

＊ 言語の設定については「■言語のセット」参照。

1. セットしたいページを選ぶ

デイカウンターモードのとき、Ⓓボタンを押します



➡Ⓓボタンを押すごとにページが切り替わりますので、設定したいページを選びます。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します



➡タイトル部の1桁目が点滅します。

3.～4.の操作を繰り返して、タイトルと設定日をセットします。

※タイトルは最大8文字まで入力できます。

＊ タイトル部に入力できる文字については「■ 文字リスト」参照。

※1940年1月1日～2039年12月31日の範囲内でセットできます。

※表示が点滅しているときにⒹボタンとⒷボタンを同時に押すと、"CLR"表示後、今日の日付（タイトル部は空白）がセットされます。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ 設定した「月日」になると

時刻モードのカレンダーと設定した「月日」が一致すると、時刻モード、デイカウンターモードの該当ページで"DAYS"マークが点滅して知らせてくれます。

※日付が変わるまで点滅し続けます。



タイマーの使い方

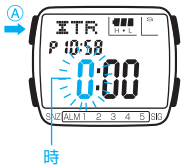
Ⓒ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは1分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。

■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

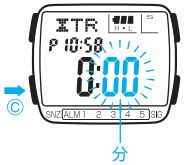
タイマーモードのとき、Ⓐ ボタンを約2秒間押します



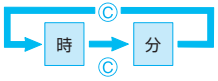
➡「時」が点滅します。

2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

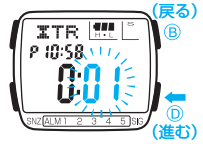


➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



3. 点滅箇所をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

2.～3.の操作を繰り返して、タイマー時間を合わせます。

※1分単位で24時間までセットできます。

※タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を"0：00"にします。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※計測は1秒単位で行ないます。



●計測ストップ後、Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。

●ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

時刻・カレンダーの合わせ方

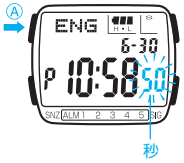
以下の操作は、時刻モードで行ないます。

充電切れなどで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■時刻・カレンダーのセット

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します



➡「秒」が点滅します。

2.「秒」合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせてⒹボタンを押します

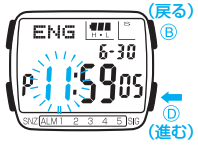


➡「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。

b. 点滅箇所をセットする

ⒹまたはⒷボタンを押します



➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

a.～b.の操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。

※正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。

* 時刻モードでは設定している言語で曜日を表示します。曜日の見方については「■曜日の見方」参照。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

3. サマータイムのON／OFF設定

Ⓒボタンを押します



➡"DST"マークと"On"または"OF"が点滅します。

Ⓓボタンを押します

➡サマータイムのON／OFFが切り替わります。

※ On＝サマータイムON（夏時間）
OF＝サマータイムOFF（通常時間）

※ サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まります。

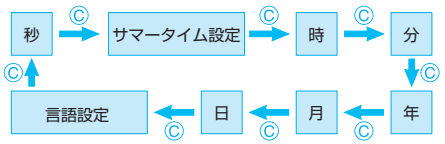
4.「時刻・カレンダー」合わせ

a. 点滅箇所を選ぶ

Ⓒボタンを押します



➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



5. セットを終わる

Ⓐボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

参考

■曜日の見方

時刻モードでは設定している言語で曜日を表示します。ただし、「JPN（日本語）」のときは、英語で曜日を表示します。

	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
ENG （英語）	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
POR （ポルトガル語）	DOM	SEG	TER	QUA	QUI	SEX	SÁB
ESP （スペイン語）	DOM	LUN	MAR	MIÉ	JUE	VIE	SÁB
FRA （フランス語）	DIM	LUN	MAR	MER	JEU	VEN	SAM
NED （オランダ語）	ZON	MAA	DIN	WOE	DON	VRI	ZAT
DAN （デンマーク語）	SØN	MAN	TIR	ONS	TOR	FRE	LØR
DEU （ドイツ語）	SON	MON	DIE	MIT	DON	FRE	SAM
ITA （イタリア語）	DOM	LUN	MAR	MER	GIO	VEN	SAB
CES （チェコ語）	NED	PON	ÚTE	STŘ	ČTV	PÁT	SOB
SVE （スウェーデン語）	SÖN	MÅN	TIS	ONS	TOR	FRE	LÖR
POL （ポーランド語）	NIE	PON	WTO	ŚRO	CZW	PIĄ	SOB
ΕΛΛ （ギリシャ語）	KYP	ΔEY	TPI	TET	ΠEM	ΠAP	ΣAB
ROM （ルーマニア語）	DUN	LUN	MAR	MIE	JOI	VIN	SÂM
TÜR （トルコ語）	PAZ	PZT	SAL	ÇAR	PER	CUM	CTS
РУС （ロシア語）	ВС	ПН	ВТ	СР	ЧТ	ПТ	СБ
JPN （日本語）	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT

■文字リスト

本機では、データバンクモードの名前部とデイカウンターモードのタイトル部に設定した言語で文字を入力することができます（16カ国語対応）。入力できる文字は以下の通りです。

ENG （英語）	（空白） ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ@！？’，"。；：（）／＋－0123456789
POR （ポルトガル語）	（空白） AÁÀÃÂBCÇDEÉÊFGHIÍJKLMNOÓÔÕPQRSTUÚVWXYZ@！？’，"。；：（）／＋－0123456789
ESP （スペイン語）	（空白） AÁBCDEÉFGHIÍJKLMNÑOÓPQRSTUÚÜVWXYZ@！？’，"。；：（）／＋－0123456789
FRA （フランス語）	（空白） AÀÂBCÇDEÉÈÊËFGHIÎÏJKLMNOÔŒPQRSTUÙÛÜVWXYZ@！？’，"。；：（）／＋－0123456789
NED （オランダ語）	（空白） ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ@！？’，"。；：（）／＋－0123456789
DAN （デンマーク語）	（空白） ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZÆØÅ@！？’，"。；：（）／＋－0123456789
DEU （ドイツ語）	（空白） AÄBCDEFGHIJKLMNOÖPQRSTUÜVWXYZ@！？’，"。；：（）／＋－0123456789

ITA （イタリア語）	（空白）AÀBCDEÉÈFGHIÌÎJKLMNOÓÒPQRSTUÙV WXYZ@!?’,"。;:()／+−0123456789
CES （チェコ語）	（空白）AÁBCČDĎEÉĚFGHIÍJKLMNŇOÓPQRŘSŠT ŤUÚŮVWXYÝZŽ@!?’,"。;:()／+−0123456789
SVE （スウェーデン語）	（空白）ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZÅÄÖ@ !?’,"。;:()／+−0123456789
POL （ポーランド語）	（空白）AĄBCĆDEĘFGHIJKLŁMNŃOÓPQRSŚTUVW XYZŹŻ@!?’,"。;:()／+−0123456789
ΕΛΛ （ギリシャ語）	（空白）ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΪΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΫΦΧΨΩ@!?’ ,"。;:()／+−0123456789
ROM （ルーマニア語）	（空白）AĂÂBCDEFGHIÎJKLMNOPQRSȘTȚUVWXY Z@!?’,"。;:()／+−0123456789
TÜR （トルコ語）	（空白）ABCÇDEFGĞHIİJKLMNOÖPQRSŞTUÜVWX YZ@!?’,"。;:()／+−0123456789
РУС （ロシア語）	（空白）АБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬ ЭЮЯ@!?’,"。;:()／+−0123456789

JPN （日本語）	（空白）アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホ マミムメモャユョラリルレロワヲンァィゥェォッャュョ゛゜ABCDEF GHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ@!?’,"。;:()／+ −0123456789

■ 自動ソートの順番

データバンクモードでは、データを入力すると名前順に並び替わります。自動ソートの順番は以下の通りです。

1	（空白）	16	ｿ	31	ﾀ	46	ﾔ	61	À	76	È	91	J
2	ｱ	17	ﾀﾞ	32	ﾏ	47	ﾕ	62	Á	77	É	92	K
3	ｲ	18	ﾁ	33	ﾐ	48	ﾖ	63	Â	78	Ê	93	L
4	ｳ	19	ﾂ	34	ﾑ	49	ﾗ	64	Ä	79	Ë	94	Ł
5	ｴ	20	ﾃ	35	ﾒ	50	ﾘ	65	Ã	80	Ę	95	M
6	ｵ	21	ﾄ	36	ﾓ	51	ﾙ	66	Ą	81	F	96	N
7	ｶ	22	ﾅ	37	ﾔ	52	ﾚ	67	B	82	G	97	Ń
8	ｷ	23	ﾆ	38	ﾕ	53	ﾜ	68	C	83	Ğ	98	Ñ
9	ｸ	24	ﾇ	39	ﾖ	54	ﾝ	69	Ç	84	H	99	Ň
10	ｹ	25	ﾈ	40	ﾗ	55	ｧ	70	Ć	85	I	100	O
11	ｺ	26	ﾉ	41	ﾘ	56	ｨ	71	Č	86	Í	101	Ó
12	ｻ	27	ﾊ	42	ﾙ	57	ｩ	72	D	87	Ì	102	Ò
13	ｼ	28	ﾋ	43	ﾚ	58	ｪ	73	Ď	88	Î	103	Ô
14	ｽ	29	ﾌ	44	ﾛ	59	ｫ	74	E	89	Ï	104	Ö
15	ｾ	30	ﾍ	45	ﾜ	60	ｬ	75	É	90	İ	105	Õ

106	Ě	121	Ő	136	Ä	151	Ë	166	Ć	181	Ъ	196	／
107	P	122	Ü	137	Ö	152	Ж	167	Т	182	З	197	+
108	Q	123	Ů	138	Б	153	З	168	У	183	Ю	198	−
109	R	124	V	139	В	154	И	169	Ў	184	Я	199	0
110	Ř	125	W	140	Г	155	Й	170	Ф	185	@	200	1
111	S	126	X	141	Д	156	К	171	Х	186	!	201	2
112	Ś	127	Y	142	Д	157	Л	172	Ц	187	?	202	3
113	Š	128	Ý	143	Е	158	М	173	Ч	188	’	203	4
114	Ş	129	Z	144	Ж	159	Н	174	Ш	189	;	204	5
115	Ť	130	Ź	145	Н	160	Э	175	Щ	190	"	205	6
116	Ţ	131	Ż	146	Ө	161	Н	176	Ч	191	.	206	7
117	Ț	132	Ž	147	І	162	О	177	Ш	192	,	207	8
118	U	133	Æ	148	Ї	163	П	178	Щ	193	:	208	9
119	Ú	134	Ø	149	К	164	Р	179	Ъ	194	(		
120	Ù	135	Å	150	Л	165	С	180	Ы	195	)		

※64番の「Ä」はドイツ語で、136番の「Ä」はスウェーデン語です。
※104番の「Ö」はドイツ語とトルコ語で、137番の「Ö」はスウェーデン語です。
※138番から184番までの文字はロシア語とギリシャ語です。